



北海道議会議員

き ば じゅん ど う せ い ほ う こ く

# 木葉淳道政報告

2021年 新年号  
NO.7

北海道議会議員木葉淳道政事務所 江別市野幌町 79-7 ホワイトピア野幌 2階

江別市と北海道のパイプ役として  
草の根からの まちづくりに



木葉 淳は はたらきます！



二〇一九年春より、皆様からのご支援を受け、北海道議会議員としての活動をスタートさせていただいております。もうすぐ一年が経過します。二〇二〇年は、本来であれば、東京オリンピックやパラリンピックなどの開催により華やかな一年となる予定でした。しかし、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、私たちの生活は一変しました。

北海道議会ではこの間、対策予算を計上し、感染拡大防止と経済対策にあたってきましたが、感染収束は、未だ、見通すことができません。これまで皆さんからいただいた意見、ご要望については、道議会のみならず、時に国会議員・江別市議会議員と連携とりくんでまいりました。引き続き、様々な課題としっかり向き合い、解決・改善に努めます。

第1回定例会予算分科委員会より  
(2020年3月25日)

**道議三年目への決意**

- ☆第一回定例会 本会議追加議題への質問
- ・新型コロナ対策緊急要望（PCR検査体制拡充、入院病床数確保等医療提供体制整備、相談窓口の一元化、生活福祉資金貸付金、学校の臨時休校に伴う対応、中小企業資金繰り対策、小規模事業者支援、道産品消費回復等）
- ☆第二回定例会 一般質問
- ・新型コロナ感染症対策、介護保険施設での避難対応、江別市内の道道整備、江別版「生涯活躍のまち」構想、ヒグマ対策、就職氷河期世代対策、米軍機道内飛行、夜間中学、交通安全等

☆第四回定例会 予算特別委員会

- ・新型コロナウイルス感染症に係る諸課題と対応、高レベル放射性廃棄物最終処分場選定問題、幌延深地層研究計画、学校における働き方改革等

※その他、委員会等での質問については  
道議会ホームページでご確認ください



定例会での主な質問内容

二〇二〇年木葉淳



## 第四回定例会主な審議内容

道が提案した、新型コロナウイルス感染症に関する緊急対策の第六弾を中心とした総額八三五億円（内、新型コロナウイルス感染症に係る補正予算額は八〇一億円）の令和二年度一般会計補正予算について審議しました。

### 第4回定例会提案の主な対策事業費

- ◎すすきの地区飲食店
  - ・時短協力支援金 ⇒ 4億4000万円
  - ・休業協力支援金 ⇒ 12億4880万円

※支援金については札幌市以外の飲食店や関連事業者にも大きな影響が出ており、早急な対策が必要であると強く求めています。
- ◎軽症者宿泊療養施設借上費 ⇒ 36億円
- ◎入院病床確保医療機関補助 ⇒ 441億6900万円
- ◎医療機関や介護・障がい福祉事業所等職員に対する慰労金 ⇒ 262億7500万円
- ◎教育旅行支援費 ⇒ 4 億円
- ◎鉄道・バス割引（ぐるっと北海道） ⇒ 4億円
- ◎道産品消費喚起事業費 ⇒ 1億7900万円

これにより新型コロナウイルス感染症対策の第一弾から第六弾の予算累計額に追加補正を加え、新型コロナウイルス感染症対策規模累計は一兆八九三六億円となりました。

**【感染者情報の公表のあり方について】**

保健所のない市町村では、振興局で一括りにされた人數公表のため、地域の感染状況が正しく分からず、不安や疑問の声が出ています。早急に公表基準を見直すべきです。中間仕分けが不十分」と指摘されています。

**【警戒ステージについて】**

現下の感染者増加の状況を考えれば、警戒ステージの引き上げは、もつと早いタイミングで出すべきで、九月の中間検証の『感染拡大の兆候の早期発見』という指摘は全く活かされていません。警戒ステージ自体の見直しと引き上げ基準の改善が必要です。

### 当面する課題と対応

#### ◎新型コロナウイルス感染症対策について



第4回定例会予算特別委員会  
(2020年12月9日)

### ◎高レベル放射性廃棄物最終処分場選定問題について

十一月十七日、NUMO（原子力発電環境整備機構）は、寿都町と神恵内村で文献調査を開始しました。財政難に直面する町村に対し、巨額の交付金を提示して同意を取り付ける手法に対し、当初鈴木知事は、「新型コロナウイルスで本当に厳しい状況にある。交付金を得たい。その気持ちはよく分かる」とした上で「ほおを札束ではなくようなりかたで手を挙げる自治体を求めていく」というやり方は疑問を持つ人も多い」と国の姿勢を批判しました。道は今後、国やNUMOから定期的に情報収集し、ホームページで情報発信することで、道民の不安や疑惑に応えることとしています。最終処分場選定問題は、北海道全体にかかる大きな問題であることから、道として、道民全体に対し、正確な情報を分かりやすく提供する責任があります。



### 議会庁舎内全面禁煙

私の所属する会派民主・道民連合は、本定例会において、議会庁舎内を全面禁煙とすることを議員総意で確認いたしました。

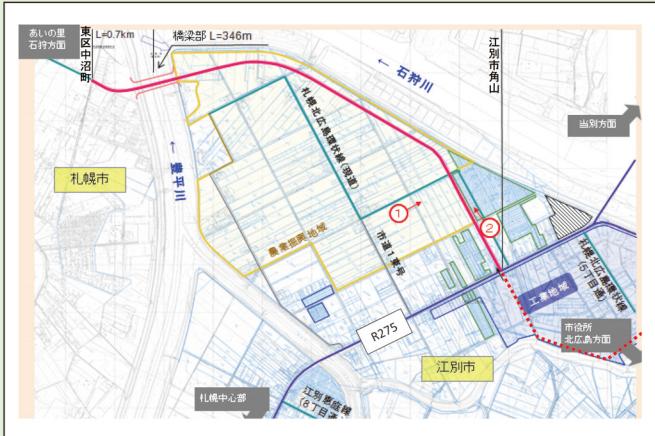
## 江別市にかかる課題について

**【道道の整備について】**  
札幌市手稲から江別市を経由して北広島市を結ぶ広域環状型道路について、大幅に人口が増えた東雁来地区の交通事故防止や雁来大橋周辺の渋滞緩和につながることから、早急に整備すべきと考えます。

### 【答弁 道建設部長】

当該道路は、道央都市圏の都市計画マスター プランにおいて物流の効率化や交通渋滞の緩和などの効果が期待されています。札幌市東区中沼町から江別市工栄町の区間におきましては整備に向けて道路や橋梁の調査・設計や関係機関との協議などを進めていきます。

今後、札幌市や江別市と連携し、事業化に向け、着実に取り組んでまいります。

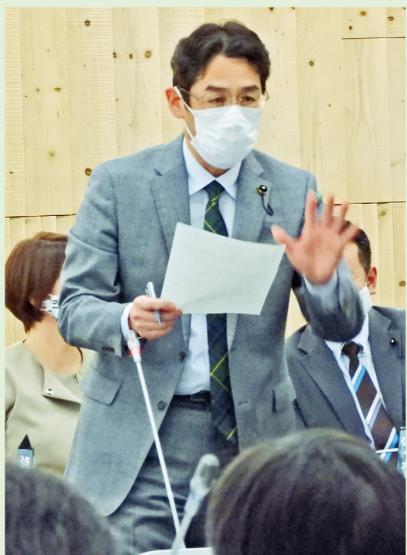


(図の提供は道建設部より)

現在江別市では「生涯活躍のまち」通称CRC構想がすすめられていますが「知的障がい特別支援学校高等部」を設置し、障がいをもつ子どもたちの就労に向けたきめ細やかな職業教育、職業訓練の実現を求めます。

### 【答弁 鈴木知事】

江別市の「生涯活躍のまち構想」は、子どもたちの、世代を超えた方々との交流の機会や実習、就労の場を確保し、生きがいのある生活を送ることにもつながる意義のある取組。特別支援学校については、道教委において、今後の生徒の進路動向を見極めるとともに、国の設置基準等に関する動きも注視しながら、毎年度の配置計画の中で、検討を行っていくもの。道としては、障がいのある子どもたちが、それぞれの能力や可能性を伸ばし、より豊かな人生を送ることができるよう、道教委と連携しながら、教育環境の充実に努めてまいります。



第4回定例会予算特別委員会質問  
(2020年12月8日)

## 北海道議会新庁舎完成

北海道議会開設五〇周年に併せて、一九五一年に建てられました「道議会旧庁舎」は、老朽化が進み、昨年六月、六九年の役目を終えました。七月より新庁舎を使用しています。新庁舎は、地上六階・地下一階でバリアフリー、地域資源の活用、省エネ性能をもち、議場は演台を中心に馬の蹄の形をしています。

この馬蹄形の議場は四七都道府県の中で唯一のものです。議場内は車いすの利用を考慮し、質問者が演台まで段差無しで往復することが可能です。また、本会議場全体は夏をイメージして設計されていて、天井からの明かりは木漏れ日をイメージしたものとなっています。

最上階の傍聴者ロビー（スカラギヤラリー）は、赤レンガ庁舎を一望でき、道産木材をふんだんに使用した展望ロビーとして一般解放を行っています。是非お立ち寄りください。



## 2020年 北海道議会議員 木葉淳 活動記録



ウポポイ（民族共生象徴空間）



経済関係団体新年賀詞交歓会



野幌料飲店組合新年交礼会



コロナウイルス対策緊急要望



北海道原子力防災センター



土佐大綱でコロナ退散

## 木葉 淳(きば じゅん)プロフィール

## 【住まい】

江別市大麻新町(在22年)

## 【事務所】

〒069-0813

江別市野幌町79-7ホワイトピア野幌2階

TEL011-382-1437 Fax011-382-1401

## 【経歴】

- 函館市生まれ ○函館市立北高校卒業
- 北海道教育大学札幌校卒業
- 江別市立江別第二小学校、江別市立対雁小学校  
など石狩管内の小学校で25年勤務
- 2019年4月北海道議会議員初当選



## 道政アンケート

送付は木葉淳道政事務所 又は Fax011-382-1401 へ



新型コロナの影響等お困りのこと教えてください

お名前

ご住所

お電話番号